

学芸大学駅周辺地区交通安全対策の検討案説明会 概要議事	
日時	平成 22 年 3 月 24 日 (水) 午後 7 時 00 分から午後 8 時 00 分
場所	鷹番住区センター (2 階) 第 3・4 会議室
出席者	事務局 目黒区：都市整備部 都市整備課 池本課長 都市整備課 街づくり調整係 双木係長、栗原主査 コンサルタント：益永、小林  参加者：12 名
会議 プログラム	1.開会 2.あいさつ 3.主な内容 4.意見交換 5.閉会
配布資料	次第 学大街づくり通信 (NO.4、NO.5) ヒヤリハット地図 交通安全対策検討案
質疑概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 碑文谷 6 丁目に住んでいるが、駅前の放置自転車の取り組みを強化により、家の前の私道に放置していく人が増えた。放置自転車の対策はどのように考えているか。 駅周辺の放置自転車対策は、学芸大学駅地区整備計画のプランの 1 つに位置づけている。東急ストア改装に伴い、2 階に 500 台規模の駐輪場が新たに設置されるため、かなり改善するのではないかと期待している。違法駐輪禁止区域の範囲に入っているが、私道は規制できない。課題としての認識はあるので、検討していきたい。</li> <li>・ ダイエーの前の鮫洲大山線に抜ける通りは、かなりのスピードを出して走っている車が多くて危険。スピードが出ないように何か対策を考えるべきではないか。 ご指摘の路線については、状況を確認の上、対策を検討していきたい。</li> </ul>

- ・ 東口商店街を走る車がマナーを守らない。タクシーが駅方向から目黒通りの方へ逆走していた。歩行者天国の時間帯に車が入ってきたりしていた。進入禁止等の標識が分かりづらくなっているのではないだろうか。路面の表示が薄くなっていると、分かりづらいと思う。状況を確認の上、対応を検討したい。
- ・ 育英幼稚園の前のT字路に横断歩道があるが、歩行者がいても車が止まってくれない。内照式の標識が付いて前よりは良くなったが、もう少し工夫して横断歩道で止まってもらえるようにして欲しい。  
対象箇所の危険性については認識している。対策については、今後、検討していきたい。
- ・ 街が密集しているので、道路が広くなるとは考えられないが、一番不自由を感じるのは鮫洲大山線の斜めに入ってくる道。道路を拡幅出来ないのであれば、電柱を地中化できないか。  
対象箇所については、交差点内のカラー舗装等交差点の明確化等の対策を考えている。電線類地中化については、トランスの置き場所をどうするか等難しい問題がある。
- ・ 配布資料等で、都道とか区道などの区別はされているのか。  
今回のエリアの中では、都道は鮫洲大山線、補助26号線である。
- ・ 26号線が出来たとき、都道が区道になることはないのか。そうすれば地元としては利便性が高くなる。  
可能性がないことではないが、都区の協議・調整によるものと思われる。
- ・ 学大の対象エリア内が、通過車両の抜け道になってしまってしまうのではないかと危惧している。居住者以外通行禁止にできないか。  
交通規制の可能性等も含めて、今後検討していきたい。
- ・ 鮫洲大山線を北から南に下がると、ガードの直前でカーブする。カーブを入ると突然横断歩道が見えてくる。一応道路にひし形のマークがあるが、看板等で注意喚起した方がいいと思う。  
確かに非常に危険性が高い地点と思う。対策として、路面標示の明確化等を検討している。  
停止線がカーブを曲がってから先にあるので、停止線の位置をカーブ手前に変更できないか、停止線手前に「横断歩道あり」などの路面標示ができないか等の対策について、交通管理者等との協議の中で検討していきたい。

